



横浜市中心図書館第46回ヨコハマライブラリーカフェ

伊勢佐木界限 140年

明治期に誕生した伊勢佐木町は、横浜の文化を発信する街として歴史を刻んできました。19世紀の頃は劇場・寄席・娯楽場や小さな商店が立ち並び、横浜に住む庶民の盛り場として発展しました。大正期になると劇場や寄席は映画館となり、松竹や吉本興業が進出、関東大震災の復興後にはデパートも開業し、昭和モダンな街へと変化していきました。

今回の講座では戦後の動向も含め、伊勢佐木町とその界限の歴史をお話しさせていただきます。

日時：平成28年 **10月23日**（日）午後2時～4時
（開場：午後1時30分）

会場：横浜市中心図書館5階第一会議室 ※職員通用口から入場

定員：40名（申込先着順）

ゲスト：ひらの まさひろ 平野 正裕 氏（横浜市史資料室主任調査研究員）

共催：総務局横浜市史資料室



お茶の提供があります。
ヨコハマ3R夢推進のため
マイカップをお持ちください。

ゲスト

ひらの まさひろ

平野 正裕 氏 (横浜市史資料室主任調査研究員)

1960年静岡県生まれ。1985年東海大学大学院文学研究科修了のち、1986年横浜市総務局市史編集室勤務。『横浜市史 II』編纂に従事。1992年より横浜開港資料館調査研究員(のち主任調査研究員)。企画展示「“蚕の化せし金貨なり…” 一明治大正の生糸産地と横浜」(2014年)、「ときめきのイセザキ 140年—盛り場からみる横浜庶民文化」(2010年)、「横浜商人・繁栄の60年」(2002年)などを担当。CD『よこはま歌物語』(2009年・キングレコード)を編集。2015年4月より横浜市史資料室主任調査研究員。



参加申込方法

平成28年10月4日(火) 午前9時30分から受付開始

- 1 電話 (045-262-7336)
- 2 Eメール (ky-libevent@city.yokohama.jp)
- 3 中央図書館3階カウンター

*申込時に「講座名、氏名、電話番号」をお知らせください。

*手話通訳等の配慮を希望される場合は10月16日(日)までにお申し込みください。

*申込時にご記入いただいた個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、申込受付及び講座の中止等、連絡の必要が生じた場合にのみ利用します。

横浜中央図書館・横浜市史資料室のご案内

所在地	西区老松町1 (図書館地下1階: 市史資料室)	
交通機関	JR・市営地下鉄桜木町駅から徒歩10分 京急線日ノ出町駅から徒歩5分	
図書館 開館時間	火曜日～金曜日	午前9時30分～午後8時30分
	土・日・月・祝休日	午前9時30分～午後5時
市史資料室 開室時間	午前9時30分～午後5時	



ライブラリーカフェとは?

最先端で活躍する研究者と「研究は難しそう」、「わからないことを聞いてみたい」と考えている人たちが、気軽に話し合うことのできる場です。毎回、様々な学術分野の最先端で活躍するゲストが、質の高い研究成果をやさしい言葉で解説するとともに、司書が厳選した当館所蔵の豊富な資料を紹介します。

人から学び、自分で学ぶ、知的情報共有の場として、最先端の研究・知識・情報と市民の皆様を結びます。難しいイメージを持つ「研究」の意外な面白さを、ぜひ感じてみてください。

